

令和5年度八王子浅川ガサガサ探検隊 スタッフ事前レクチャー（報告）

【開催概要】

日時：令和5年（2023年）7月22日（土） 10：00～12：00

場所：八王子市役所職員会館第2会議室、浅川（鶴巻橋周辺）

参加者：スタッフ20名

講師：ガサガサ探検隊長 中本賢

【スケジュール】

時間	内容
10：00～	<屋内レクチャー> 浅川やガサガサについて講義
11：00～	<屋外レクチャー> 浅川へ移動し、現地で実習
12：00	プログラム終了
12：00～	希望者による昼食会
12：45～	希望者による川遊び

【レクチャー内容】

浅川は世界一の川である！！

浅川は都市と共生する美しい自然。それなのに橋の上から川を覗く人も、夏休みに川で遊ぶ子供も居ない。

最初の価値が『浅川は楽しい』これだけで充分である。

楽しさを伝えるのに一番大切なのは、目の前の大人がめっちゃくちゃに楽しんで見せるコト。この人「変なおじさん」と思われたら大成功ですよ。



↑隊長による熱のこもった説明



↑汚れて泡立つ多摩川の映像

多摩川水系は自然を再生させてきた

「奇跡の川」

先人たちの多くの努力により、再生した私たちの「故郷の川」。驚くような水棲動物たちの再生がある。浅川は問題を探す場所ではなく「未来」と出会う場所なのです。環境教育で、温暖化や外来種問題などの暗い将来を示すのは間違い。前に進むために必要なのは「希望」を持つこと。浅川の再生は多くを伝えていま

す。

海外に目を向けると、現在の発展途上国の環境は50年前の多摩川そのもの。その途上国が自国の川を何とかしたいと考えたとき、お手本になるのが多摩川水系に点在する都市なのです。

川には危険もある

川には危険もある。流れにのまれた際には、流れに逆らっても勝ち目はない。思うように動けずパニックになって溺れてしまう。流されたらクルリ下流側を向き障害物を足でよけ、横に移動。そのうち流れが巻いている（弱まっている）場所に流れ着いたらそれから陸に上がればよい。

ガサガサ探検隊でも「川流れ」は経験。溺れない方法を実地でレクチャーしているのに、子供たちはキャッキヤと楽しむだけ。大事な話なのに！！・・・でも仕方ないかあ～(笑)。



↑スタッフによる川流れ体験

子どもに魚を捕らせろ！そして褒めろ！



↑魚の捕り方を実演する隊長

川で泳いでいる魚に網を振り回しても絶対につかまらない。そこで、隠れている魚を狙う。網を採取ポイントの下流側に設置する。魚は基本的に上流側に逃げる習性があるので、それを足でけりこんで網側に追い込んで捕まえる。

子どもが捕れたらとにかく褒めること。子供たちはそれでやる気を出す。子供の頃の楽しい体験は一生忘れない・・・たとえボケても忘れませんヨ。(笑)

7月30日の本番に向けて

大人も大学生も高校生も、参加者はみな真剣に隊長の話に耳を傾けました。未来の隊長候補の皆様おつかれさまでした。事前レクチャーも終わり、あとは本番を残すのみ。みんなで浅川ガサガサ探検隊を盛り上げ、浅川のすばらしさを広げましょう。



頼もしいスタッフと集合写真。本番頑張りましょう！！

<中本隊長からコメント>

魚が獲れる大人は尊敬されます。でも、魚獲りの上手い大人なんて・・・なかなか、東京には居ませんよねえ。子供に教えている振りしながら、お父さんに伝えましょう。「次回は、僕の代わりにヒーローになって下さいネ」って。子供に伝わるのは「夢中」です。一生懸命は見抜かれます。だって一生懸命はつまらないもん。今回参加のレンジャーの皆さん。とっても素敵でした。年齢関係なくみんな「半ズボン」の少年のようでした。30日の本番も同様に振舞ってください。夢中はストレートに魅力を発信します。来年再来年・・・皆さんの成長が楽しみになりました！

30日は、一緒に楽しみましょうッ！

浅川ガサガサ探検隊
隊長 中本賢

おまけ

「役所の人は事務仕事ばかりで川で遊ぶこともないだろうから、たまには遊んでみたら」という中本隊長の提案から実現した自由参加の「川遊び」。市職員の家族を中心に約40人が集まりました。無邪気に遊ぶ子供たちを見て大人たちも大満足でした。

スタッフの方々も思い思いに生き物を捕って、子どもに見せたり持ち帰ったりと、とても楽しそうでした。

